



第4回

千代田地区まちづくり勉強会開催



令和7年3月19日（水）
成田空港温泉空の湯 会議室
出席者数：16名

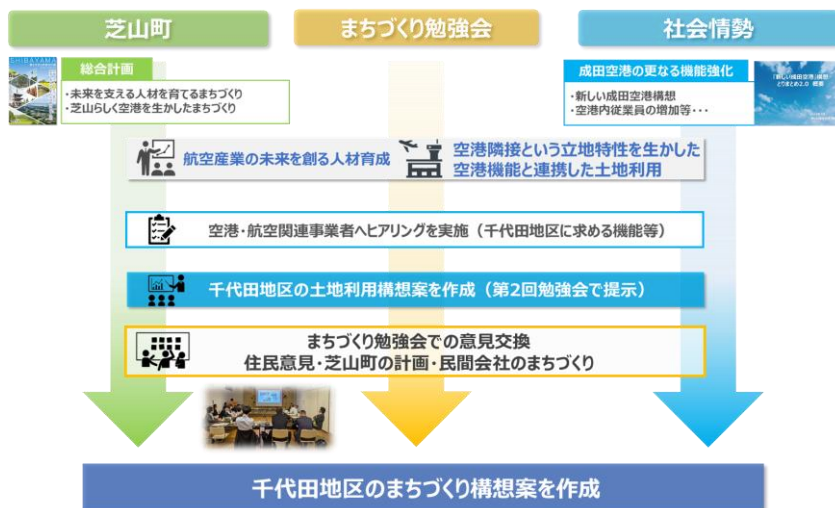
内容

- ① まちづくり勉強会について
- ② 勉強会の内容について
 - (1) 第1回（R6.6.19）
 - (2) 第2回（R6.11.20）
 - (3) 第3回（R7.1.29）
- ③ まちづくり構想案について
- ④ 今年度のまとめ
- ⑤ 次年度の取り組み案について

今年度の集大成として

千代田地区のまちづくり構想案作成までのステップ

- 昨年6月にスタートした「千代田地区まちづくり勉強会」もおかげさまで今年度最後となる第4回目を迎えることができ、今回は『**今年度のまちづくり勉強会の内容振り返り**』を行い、『**まちづくり構想案**』ならびに『**次年度の取り組み案**』をご提示させていただきました。
- **第1回**では地権者の皆様からこれからの千代田地区に求められるものとして、空港との連携や、商業・医療・福祉などの生活利便施設を望むご意見をいただきました。
- **第2回**では、町から『町が考える千代田地区のまちづくり』と題し、町の現状の課題、空港・航空業界が抱える課題や千代田地区に求める機能、これらを踏まえた千代田地区の土地利用構想案をご提示させていただきました。
- **第3回**では、パナソニック ホームズ(株)より、まちづくりの成功事例に関する講演として、福島県伊達市の「アップデートシティふくしま」での取り組みについて講演いただき、地域企業・住民の参加が、まちの価値を高め、持続可能なものになるということをご教示いただきました。
- 右図の通り、町の総合計画、まちづくり勉強会、社会情勢を踏まえ、**今年度の集大成として『まちづくり構想案』を作成いたしました。**（詳細は裏面をご参照ください）

次年度
取り組み案

“強みを磨く” まちづくりに向けて

“弱みを嘆く”のではなく、“強みを磨く”しか町は変わらない

① 民間企業との連携

民間各社との意見交換

（目標）
定例的な協議の場

〇〇検討会

- ✓ 問題意識の共有
- ✓ 情報交換
- ✓ 課題解決策の検討など

『空港機能と連携したまちづくり構想案』の具体化

⇒①、②を踏まえつつ、勉強会とも連携し、具体的な土地利用を検討

連携

千代田地区まちづくり勉強会

- ✓ 町から検討状況の報告（地権者との情報共有）
- ✓ 意見交換
- ✓ 先進事例、整備手法などの研究等

人口減少、商業施設や医療施設の不足、公共交通機関の不足など、当町が抱える課題（弱み）はある中、一方で、空港・航空関連企業へのヒアリングにおいては、千代田地区に大きな可能性を感じていただいている声もあります。上記経緯のもとで千代田地区まちづくり構想案を作成いたしましたが、**この構想案はあくまでも一つの構想であり、今後、本案の妥当性や実現性等に関して精査を行っていく必要があります。**

ゆえに、次年度は左図に示すとおり、このまちづくり構想案をもとに、**民間会社と定例的な協議**を行い、様々な視点からの意見交換を実施して構想案の具体化を図りつつ、**併せて定量的な調査**を実施し、客観的な視点からの情報・データ収集や分析を行うことにより、**確証と確信を併せ持つ構想**にしていきたいと考えております。

その構想こそが、我が町の真の強みであり、その強みをひたすら磨いてゆく、その先に町の真の発展があると強く信じております。

② 定量調査（客観的データの収集・分析）

構想案を客観的に評価
勉強会オブザーバー企業とも連携



次回勉強会について

- ・今年度のような定期開催ではなく、皆様にお伝えできる情報の進捗があり次第、開催する形を想定しています。
- ・次年度1回目の勉強会につきましては、内容が整い次第、改めてご案内させていただきます。

シェア・交流・連携により、付加価値が高く持続可能なまちづくり



まちづくり構想案について

- 町では、地域住民の皆様の生活利便性向上のため、商業・医療・福祉等の「生活利便施設」を誘致したいと考えております。そのためには、人を呼び込む必要があり、人を呼び込むためにはその地のニーズを把握する必要があることから、この地の地域資源である空港を生かすべく、空港・航空関連企業へヒアリングを実施しました。
- ヒアリングの結果、パイロット・CA等のトレーニングセンター、航空人材育成のための教育機関を求める声があり、また国でも航空人材不足への対応に向けた検討が進められるなど、今後、大きく発展する分野と考え、まちづくり構想案の中に他地域では、マネできない“航空人材育成機能”を配置いたしました。
- パイロット・CA等のトレーニングセンターや航空教育機関が配置されることで、人の流れが生まれ、その結果として、生活拠点となる社員寮や学生寮、並びにホテル・レストラン・ショッピング施設等の需要が高まり、居住施設や賑わいゾーンの形成が期待されます。
- 居住施設や賑わいゾーンの形成により、人の流れが活性化され、その人の流れを支える機能として、交通結節拠点の形成、さらには公共交通機能の充実化というような流れで、「点」であった機能が「線」で結ばれ、最終的に「面」になっていくというようなストーリーを描き、当該構想案を作成させていただきました。
- シェア・交流・連携をキーワードに付加価値が高く、持続可能なまちづくりを目指してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

